

平成30年度特定機器分析研修Ⅱ(LC/MS/MS)(第1回)実施要綱

環境省環境調査研修所

1. 目的

国及び地方公共団体等において環境分析業務を担当している職員が、特定の機器(LC/MS/MS)測定に関する専門的知識及び技術を習得するとともに、全員合宿による研修生間の交流を通じて、相互の啓発及びネットワークの形成を図る。

2. 期間及び会場

(1) 期間 平成30年4月16日(月)から4月27日(金)まで(10日間)

※期間中は受講者全員合宿制となります。

(2) 会場 環境調査研修所 〒359-0042 埼玉県所沢市並木3-3

TEL: 04(2994)9766

FAX: 04(2994)9306

3. 教科内容

裏面のとおりとする。

4. 研修予定人員 15名

5. 研修を受ける資格

次の各号のいずれにも該当するものとする。

(1) 国及び地方公共団体等において環境分析業務を担当している職員で、一定の実務経験を有する者

(2) 研修受講に支障のない健康状態にある者

(3) 所属長の推薦を受けた者

6. 研修生推薦の有無

研修生を推薦する場合は、別紙様式による被推薦者の「略歴書」及び「実務経験調書」を添えて、**平成30年3月15日(木)までに必着**するよう環境調査研修所所長あて文書により通知すること。

なお、研修生を推薦しない場合においても、前記の推薦期限までにその旨を文書(研修担当者からの事務連絡もしくは公用メールによる連絡でも可)にて通知すること。

7. 研修生の決定

環境調査研修所所長は、6の推薦に基づいて研修生を決定のうえ、推薦者にその旨を通知する。

8. 修了証書の交付

環境調査研修所所長は、所定の課程(原則として1割以上欠課した者を除く。)を受講した者に対して修了証書を交付する。

なお、受講の状態については、研修終了後所属長に通知する。

9. 経費

次の経費は所属長の負担とする。

(1) 往復に必要な旅費

(2) 滞在費

ただし、国家公務員(独立行政法人職員を除く。)については、日額旅費を環境調査研修所から支給する。

* 次の情報を環境調査研修所ホームページ(URL <http://www.neti.env.go.jp>)に掲載しておりますので御参照ください。

◎ 「研修受講ガイドブック」

(研修受講に当たっての留意事項に関する情報を掲載しております。)

◎ 「実施要綱」、「略歴書」及び「実務経験調書」様式

○特定機器分析研修Ⅱ教科内容

	時間
1. LCの基礎	1.5
2. LC/MS/MSの基礎	3.0
3. LC/MS/MSによる農薬一斉分析	1.5
4. 環境分析に要求される超純水について-農薬およびPFOS, PFOAの分析から-	1.5
5. LC/MS/MSによる環境微量分析	1.5
5. 実習講義	3.0
6. 実習	37.5
7. データ整理	4.5
8. ゼミナール	1.5
9. その他(開講式、閉講式、演習準備等)	6.0

合計 61.5 時間

○特定機器分析研修Ⅱ実習内容

実習項目	目的及び方法	実習内容の概要	定員
LC/MS/MS	LC/MS/MSの測定方法の理解と操作技法の習得 <u>(第1回では前処理や機器操作技法を含む測定方法全般を、第2回では機器操作技法を扱うカリキュラムとする)</u>	1. 測定対象物質 農薬等 2. 装置 高速液体クロマトグラフ フタンドム質量分析計 3. 内容 1) 測定操作 2) 定性・定量分析 3) 精度管理手法	15名

- 都合により一部内容を変更することがあります。
- 開講式は10:00より行う予定です。9:30までに入所してください。
- 閉講式は13:15に終了する予定ですが、講義時間の延長等により若干遅れる場合があります。
- 帰路の航空機、列車の時間等により講義等や閉講式を欠席することは認めません。
- 最終日は昼食の用意はございません。